

◆青少年育成研修の集い

兼地域学校協働活動ボランティア研修

◇テーマ◇

『HSPとHSC～繊細さを読み解く』

- ・日時 11月9日(木)午後7時～
- ・場所 総合センター 大ホール
※託児あり
- ・講師 こどものこころの相談室
がじゅまる 代表
寺崎 真一郎 氏(臨床心理士)

HSPはハイリー・センシティブ・パーソンの略で「繊細さん」。HSCはハイリー・センシティブ・チャイルドの略で、繊細さんの子ども版。「繊細な子ども」や「ひといちばい敏感な子」と呼ばれます。

このHSP・HSCは生まれ持った気質で、病気や障がいではありません。

慎重で危機回避能力が高いHSP・HSCは、5人に1人はいると言われています。

心が疲れやすくて生きづらい…それは「HSP」かもしれません。

この講演会で、HSP・HSCについて学び、子どもの気質や子どもを取り巻く環境について考えてみませんか。



講師の寺崎先生は、北海道生まれ。

北海道教育大学大学院臨床心理学専攻を卒業後、被虐待児ケアなど児童福祉臨床や教育臨床に従事しながら、こどものこころの相談室がじゅまるという心理相談室を開設。

現在は、心理相談室の運営と同時に、大学や専門学校の非常勤講師をしながら、乳幼児から青年期までの子ども達と関わり続けています。

子どもや親への個別相談を中心に、子どもを取り巻く環境へのアプローチや、他職種との連携、また、対人援助職が学びを深められる環境作りに励んでいる。

【所属学会・研究会】

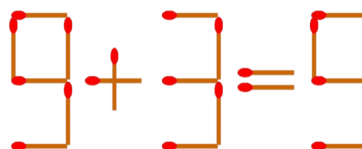
- 日本心理臨床学会 会員
- 日本LD学会 会員
- 日本精神分析学会 会員
- 北海道臨床心理士会 研修委員
- 北海道精神分析研究会 運営委員
- 滝川市いじめ防止委員

【著作】

- わたしがこどもの心理臨床を続ける理由 (2018)
- スクールカウンセラーはメディアの中でどのように描かれてきたか (2020)
- 心理臨床の地域性 (2022)

◆『頭の体操』を、してみましょう！

マッチ棒を1本動かして数式を完成せよ。
答えは3通りある。



「50歳になって」

青少年育成協議会 副会長

多羽田 裕一

私もついに50歳になりました。半世紀を運よく元気に過ごすことができた喜びを感じる一方で、めまぐるしく変わる世の中に翻弄されている自分がいます。

なぜかわかりませんが、私は人よりも昔のことをよく覚えているほうだと感じる事が多くあります。

私は農家に生まれましたので、自宅まわりに畑や田んぼがあり、納屋や豚舎もありました。したがって農家の仕事はすぐ近くで見えましたし、その光景は比較的鮮明に覚えています。また、幼少期に行ったところ、出会った人、何をしたかなどもすべてではありませんが記憶に残っていることが多くあります。

終戦直後に生まれた両親に比べれば、自家用車や家電もあり十分豊かな世の中で育ったと思いますが、現代に至るまでにはさらに便利になり、ついに自分では操ることが困難になりつつあるものもあります。その代表はスマホでしょう。私もスマホを所有してだいぶ経ちますが、残念ながらその機能の多くは使いこなすことができません。しかし子供たちはこれをいとも簡単に使いこなしているように見えます。スマホなどのIT機器はこれからさらに進化していくことと思いますが、正しく使ってもらうことを願うばかりです。

50年間の思い出と、これから起きる様々なことをできるだけたくさん記憶の中にしまっておいて大切にしていきたいと思っています。



令和5年度

『学校運営協議会』が開催されました

第1回学校運営協議会が8月28日に開催されました。

会長に熱海克彦さん、副会長に中田雅浩さんが選出され、その後、それぞれの学校経営方針について協議し、承認されましたので報告いたします。

またその他に、公民館図書室や学校図書室の充実を要望する声や、小・中学校の図書室にもボランティアの方々に整備に来ていただいたことの話提供がありました。

その中で、中学生は委員会活動で図書室まで行く動線にクイズを提示するなど、整備された図書室を利用してもらうため、工夫しているとのことでした。

『頭の体操』の答え

もう1通りもわかりますか？

